

おあしす

第39号
October 2013



- 議会インターネット配信（ライブ・録画）システム導入事例 山口県周南市
- 議会録音設備導入事例 山口県光市
- **特集** 明治維新の策源地 山口

巻頭言

白井 義美

今年には伊勢神宮の式年遷宮の年です。一三〇〇年以上続いている、二十年に一度の行事だということをご承知のことと思います。遷宮行事は、山口祭、木本祭に始まり遷御、奉幣、御神楽に至るまで三十に及ぶ祭典・行事が行われ、正殿や御垣内の建物等全ても新しくします。どうして二十年毎なのでしょう。清々しい場所で神様を祀るためとか、伝統技術を伝承するためには二十年が適切であるとか、様々な説があります。私は、平成十九年に行われたお木曳き行事、今年の八月に行われたお白石持行事に参加しましたので、考え深いものがあります。

職人の世界では、技術の伝承は「言葉ではなく見て覚える」と、よく言われます。「そうだよな」と思う反面、今の若者に、会社の若い社員にそのようなやり方が通用するのかわかと思うと考えさせられます。やはり、「見て覚える」、「言葉で伝える」の両方が必要ではないかと思えます。

言葉は生き物です。言葉は心の表れで、言葉遣いは心遣いとも言われます。一つの言葉で喜び、悲しみ、怒るものです。相手に対しての気配りをしながら言葉遣いに注意してこそ、円滑なコミュニケーションが図れます。

その代表的なものが、今年六月に、サッカー日本代表がワールドカップ出場を決めた夜のことです。「DJボリス」と称された警察官の話は記憶に新しいことと思います。相手を思いやる優しさとユーモアに溢れた言葉が、若者たちの心を動かししました。言い方によって、相手に不快にさせずに言葉を伝えることができる見本でした。

私たちは、「状況に合わせた適切な言葉遣いを心がける」、「人の心を和ませる言葉を発する」、「言葉に心を込め褒め方上手になる」を意識することによって、人間的に成長していくし、「言葉で伝える」こともできるでしょう。

「何度言ってもわからない」という愚痴を言っても何も生まれません。不満をいだくよりも現状を受け入れ、今ある環境に感謝して、自らの手で着実に好転させていくことが大切です。そうすることにより、長い歴史のある遷宮には及びませんが、会社の伝統を伝承することができると思っています。

「社風造人〜良い社風が良い人をつくる」という社是の基、「お客様に喜んでいただける会社づくり」に邁進していきましょう。

山口県 周南市 議会中継開始!!!



職員様の操作は、配信当日に**ボタン**を押すだけ。多忙な本会議当日の負担がありません。



目的の映像をすぐに検索し、直感的に選択できるよう工夫されたレイアウトです。



本会議、臨時会の他、全員協議会も配信。ご要望に応じて、委員会やその他の映像にも対応します。



発言内容、議員名、会派名、会議名の組み合わせだけでなく、他のシステムにはない「関連語検索」機能を搭載し、目的の映像を高速に検索します。

周南市議会様導入のポイント

- 1 既存カメラシステムに影響を与えないよう、配慮しています。
- 2 ご担当者様の負担を極力少なくし、間違いを防ぐために、**パソコン操作の不要**なエンコード専用機を採用しています。
- 3 配信画面のレイアウトは、**誰でも直感的に目的の映像を視聴**していただけるように、工夫しています。
- 4 全ての設備と回線に**万全のセキュリティ対策**を施しています。

会議録検索システム DiscussNetPremium



会議録をWebに公開して高速検索できるシステム。検索はキーワード、関連語、発言者、会議名、年度指定などができるため、簡単に過去の記録が見つかり、議会業務の効率化と「開かれた議会」の実現を支援します。

議会専用ホームページ作成・管理ツール DiscussWeb



早稲田大学マニフェスト研究所監修のもと、流山市議会と共同研究した自治体専用CMSをベースに、議会専用開発したホームページ作成・管理ツール。豊富なテンプレートや誰でも簡単&迅速に更新できる使いやすさで、高い評価をいただいています。

議会資料共有システム DiscussCabinet



さまざまな議会資料が簡単に分類・登録でき、そのままスピーディにWeb公開できる次世代型のファイリング&共有システム。語句や単語だけで検索ができるため、議会資料の準備がこれまでより大幅に簡単・スピーディになります。

ぎじろくセンターがご案内する議会向けシステム「Discussシリーズ」は、会議録検索・議会映像配信導入実績 No.1
600以上の自治体に導入実績がある、安心と信頼のブランドです。

議会系システムの
全国導入実績No.1
(Discussシリーズ)

議会情報公開システム

議会の情報公開を総合的にサポート
住民サービスと議会運営の省力化を実現します

議会映像配信システム DiscussVisionNet



議会のライブ・録画中継をWeb上に公開するシステム。映像で配信することで議会活動を直感的に、もっと身近に感じてもらうことができます。PCだけでなく、スマートフォンやタブレットPCでも視聴可能です。

平成 25 年 10 月 映像配信システムの新バージョン発表！
スマートデバイス対応のデモサイトをご覧ください。

Visionシリーズ デモサイト



QR コードから
直接アクセスできます

<http://www.discussvision.net/>

VisionSmart デモサイト



QR コードから
直接アクセスできます

<http://smart.discussvision.net/smart/aozora/>

アクセスする端末により自動で端末のサイズに応じた専用サイトへ誘導します。

動作確認環境
Android 2.3.3、3.2.0、3.2.0、4.0.3、4.0.4
iOS 5、6

録音・音響設備を一新



カメラのハイビジョン化、マイクとの連動、CATV局への映像と音声提供を前提に、拡張性を高く設計しています。



各席に赤外線マイクを配置



ワイヤレスレシーバーを用意しています。

施工前の操作席 ▶



施工後の操作席。マイクの切替、録音操作は全てタッチパネルで行えます。

光市議会様設備のポイント

- ① 今回は録音環境のみの改修でしたが、来年度以降のカメラシステム入替を見越した設計をしています。(ハイビジョンカメラ、テロップ、録画など、**全て連動が可能**)
- ② ご担当者様の負担を軽減するため、大きなタッチパネルモニターで**マイクの切替、録音が簡単に操作できる**ように工夫しています。
- ③ 耳の不自由な傍聴者の方へ、ワイヤレスレシーバーを用意しています。
- ④ **全ての機器をスマートに収納、連動**させることで、煩雑な操作を廃し、間違いを防いでいます。

議場設備のご案内

デジタルレコーダー

回転機構が存在しないため、高信頼の運用が可能となるだけでなく、メンテナンスの手間やコストを大幅に削減することができます。

接点が露出しない構造であるコンパクトフラッシュを使用することで、信頼性の高い音響システムの構築が可能。さらに、汎用性の高いUSBメモリー、SDカードに対応。録音品質を選択できるため、長時間録音も可能となります。



赤外線会議システム

赤外線は壁を通り抜けることができないため情報漏洩を低減し、安心してお使いいただけます。コードレスのため露出配線不要のスマートな設置が可能になり、レイアウト変更も自由自在です。

最大150台まで増設可能で、大小様々な会議に対応できます。優れた拡張性能により、導入後の増設も容易です。ご予算に見合った規模のシステムを導入し、必要に応じて増設していただけます。



高性能赤外線マイク

操作システム



- カメラやマイク、テロップの制御や映像の確認に、パソコンを使わない安全で簡単操作の専用機器を使います。
- 従来のパソコンを使うシステムや、既設のマイクシステムと連動させるシステムのご提案も可能です。

◀タッチパネルによる専用システム

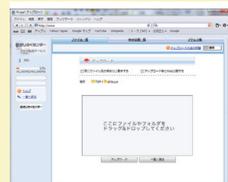
デジタル機器を活用したスピーディーで良質な反訳仕上げをお約束

デジタル反訳

- * デジタルレコーダーで録音された音声データを、インターネットを通じて即座に弊社の音声サーバーへ送っていただけます。
- * 暗号化通信によりお客様の情報を守ります。
- * 特別なソフトのインストールは不要です。



登録は無料
テープ発送の手間を省力化
素早い納品が可能



▲データ転送画面

会議録作成支援システム

VoiceAir



議会の会議録作成作業を快適にする、**音声認識パッケージ**

Point 1 オールインワン型パッケージ※1で、簡単導入!

システム構成イメージ



既存音響設備※2



採録した音声・映像データをSDカードなどでVoiceAirに取り込むだけ



会議録作成支援システム
VoiceAir

—— オールインワン型で提供 ——

- ※1 パッケージには以下の物が含まれています。
 ・デスクトップPC一式(付属品含) ・OS一式 ・Microsoft Officeソフトウェア一式 ・VoiceAirソフトウェア一式
 ※2 オプションで音響設備の提案、提供も実施します。

Point 2 分かりやすいインターフェイスで、簡単操作!

カーソルの位置と音声・映像との連動が可能なので、映像を見ながら直接編集が可能

1 来年7月24日の地上デジタル
 2 地デジ対応受信機の普及率
 3 所得水準や地域による格差は
 4 複聴対策の必要も浮上する
 5 ぎ早に普及促進を打ち出し
 6 【図解】イチから分かる地デ
 7 用
 8 アナログ放送は24日正午、
 9 洲市(すずし)と熊谷町の一部で、全国に先駆けてアナログ放送を
 10 終了し、地デジに完全移行する。
 11 珠洲市は昨年7月と今年1月に段階的にアナログ放送を休止して受
 12 信環境の整備を進めてきた。同市企画財政課は「実験も順調だった
 13 し、地デジ化は100%大丈夫」と自信をみせる。
 14 同市は来年の完全移行までモデルケースとして問題点の検証を行う

使いたい機能が一目で分かるボタン配置

画面イメージ

システムの特長

【高認識率を実現するための機能】

- 認識精度を向上させるため、地名・人名・方言などを辞書に登録する機能
- 次々に入れ替わる話者の自動認識機能
- 事前に個別の音声进行学习することなく利用可能

【豊富な編集機能】

- 映像・音声と連動してカーソルが移動するため、編集作業の効率アップ
- 修正したい箇所を指定すると、その箇所から映像・音声が再生可能
- 特定のキーワードをハイライト表示
- よく使う機能をショートカットキーに登録することで、編集作業をスピードアップ

Point 3 認識率の事前チェックで、安心導入!

導入までの流れ

システムのご説明

コンサルティング

・認識率の測定、結果のご報告 ※3

・お客さまごとに最適なご提案の実施 ※4

導入のご決定

※3 過去数時間分の会議の音声データと会議録のテキストデータのご準備をお願いします。

※4 会議録のテキストデータのご準備をお願いします。

「VoiceAir」は、NTTが開発した音声認識エンジンVoiceRexを活用しています。

●VoiceAirは、東日本電信電話株式会社が商標登録出願中(出願番号:2010-58880)です。

●本システムの音声認識技術の一部に、京都大学河原研究室の技術を利用しております。 ●この文書の一部または全部を無断で使用、または複製することはできません。

●Microsoft Officeは米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における登録商標または商標です。

お問い合わせは情報システム部まで

特集

明治維新の策源地 山口

山口県の二五〇年の節目について学ぶ

藩庁移鎮の理由

萩から山口へ藩庁が移ったのは、文久三年です。

なぜ萩から山口へ移す必要があったのかというと、嘉永六年六月、浦賀にペリーが来航し、武力をもって幕府を脅し、開国を迫ります。幕府は委縮し、朝廷の許しを待たずに次々と条約を結んでいきます。そのとき藩論が攘夷に決定した長州藩は、萩は海に面しているので、異国の船に砲撃をされたら一たまりもないということ、また防長二州を指揮する上でも

中心部の方が良いという理由から、藩庁を萩から山口に移鎮しようという計画が持ち上がりました。

結果、山口の町は大内氏の滅亡以来、再び政治の中心地となったのです。

長州ファイブの裏話

長州ファイブは、なぜイギリスに行くことになったのか。

幕府の使節団の一員、杉孫七郎が長州ファイブよりも先にイギリスに訪問しており、それをうらやましがった高

山口県 (山口県庁HPより 平成 25 年 4 月 1 日現在)

人口：1,427,226 人

面積：6,114.13 平方キロメートル

世帯数：599,626 世帯

特産品：かまぼこ蒲鉾、ういろうはなっこりー
外郎



杉晋作に、藩が気を遣い、上海行きを命じます。それを見た山尾庸三も外国への視察をうらやましがり、函館奉行の所属船が黒龍江へ行くという情報を得て、船に乗り込み、ニコラエフスク（ロシア極東部）へ行きます。そして、他の国にも行きたくなったという山尾庸三は、大村益次郎に相談します。それから後、長州藩はイギリスの蒸気船（後の壬戌丸）を購入し、乗組員を募集したところ、井上馨ほか数名が乗り組みを命ぜられますが、船の操縦ができません。攘夷と燃えていた長州藩にとっては外国人の船長を雇うわけにもいかず、そこで海軍奉行の勝海舟の塾生である長州藩の土屋平四郎が、師匠の高木三郎を推薦します。しかし、高木三郎も船の操縦が全くだきません。そこで、外国へ出て実地で研究しないといけないと思つた山尾庸三らが英国へ密航します。

高木三郎が船の操縦をすることができていたら、長州ファイブは存在しなかったかもしれないという裏話でした。

※ 長州ファイブとは

文久三年五月十二日にイギリスへ密留学した井上馨、遠藤謹助、山尾庸三、伊藤博文、井上勝の五名の長州藩士。イギリスへ留学後、井上馨は、初代外務大臣、遠藤謹助は造幣局創設者、山尾庸三は東京大学工学部の創設者、伊藤博文は初代内閣総理大臣、井上勝は鉄道の父と呼ばれ、鉄道発展に寄与した。

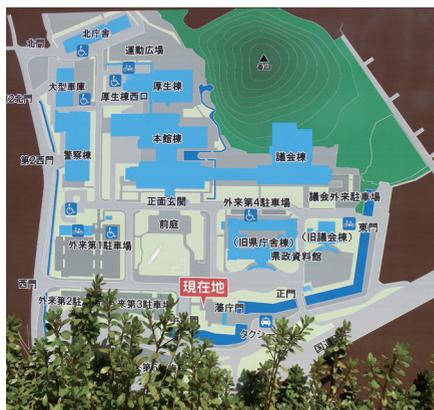
山口藩庁門



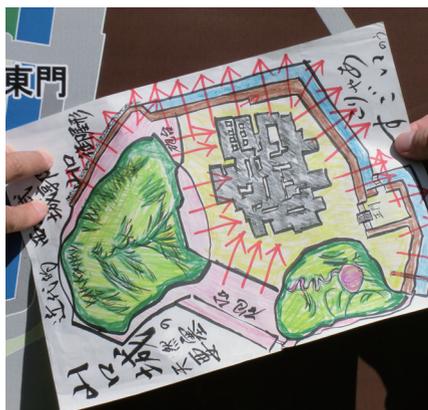
山口藩庁門

山口市滝町山口県庁の敷地に所在しており、山口県指定の有形文化財とされています。

藩庁門は、元治元年、一八六四年に長州藩の藩主の毛利敬親が藩政の本拠地を萩から山口へ移すため建設した山口政事堂の表



現在の山口県庁の見取り図



松前様手書きの十字砲撃、十字砲火の説明図（当時の山口城）



土塁の名残

門として築造されました。なぜ、山口に移したかという点、萩城は海に面しており、異国の船が近づいて砲撃されるとひとたまりもないことと、政治を指揮するなら中心部のほうがよいという理由からといわれています。

築造当時は、高杉晋作、桂小五郎、伊藤博文等の藩士が足早にこの門を訪れたといわれています。しかし、明治の初めにつくられたのではないかともいわれているようで、実際のところは謎に包まれています。

近くで見ると、藩庁門はとても大きく、城門としての風格がありました。現在ではなかなか見られない大きい松やけやきの木を使用しています。

門には実際には鍵がかかっていて、開閉はできないのですが、イベントで鍵をあけて扉を開けてくれる機会もあるそうです。

藩庁門手前には、木の根っこ土の塊が見えました。これは当時、敵からの攻撃を守るための土塁だそうです。なぜ土を使ったのかというと、石垣だと砲撃を受けたときに、割れて飛び散った破片が危険なためです。また、藩庁門の左右には堀があり、こちらも立派でした。カクカクとした直角のような形で作られており、この形の理由は、十字砲撃、十字砲火といわれ、どの方角にも攻撃ができ、死角がなくなるためなのだそうです。当時の人たちの工夫が窺えました。

奇兵隊創設

文久三年五月十日の幕府攘夷実行期限に従い、長州藩では久坂玄瑞たちが下関でオランダや各国の軍艦を次々と砲撃して勝利の喜びに沸いていましたが、六月にアメリカなどに砲撃されました。

その頃隠棲生活を送っていた高杉が山口に呼び出され、山口政事堂にて「下関

のことは、私にお任せください。一つ考案がございます。有志の士を募って一隊を創立しましょう。名付けて奇兵隊であります」と藩主に建言するのです。

奇兵隊が結成されたのは下関ですが、奇兵隊の創設案が出されたのは、実は山口です。

七卿落ち

七卿落ちとは、三条実美、三条西季知、東久世通禧、壬生基修、四条隆諤、錦小路頼徳、沢宣嘉の七人の公家が文久三年八月十八日の政変（宮廷クーデター）により、京都を追われ、長州藩へと身を投じた事件です。

八月十八日、薩摩兵が堺町御門の前に立ちほだかり、「このままでは戦になりかねない」との理由で、翌日の八月十九日に七卿、長州藩兵ら総勢二千人と妙法院を目指し伏見街道を進みます。京都から三田尻、山口、長府、筑前赤間、太宰府、そして京都。京都へ再び戻ったのは四年四か月ぶりです。

洞春寺 どうしゅんじ

応永十一年（一四〇四年）十一代大内盛見の時、国清寺として建てられました。明治初年に洞春寺と改称され、中国地方十力国を治めた戦国大名、毛利元就の菩提寺となりました。また、慶応元年（一八六五年）一月十日、井上聞多は鴻城軍の総督となりましたが、翌十一日、上陣營をこの洞春寺（当時は常栄寺）に



洞春寺

移したそうです。

そんな歴史ある

洞春寺ですから、立派な御住職様がおられます。それは紀州犬のマル住職です。可愛い顔をしています。が、住職を務められるためなのか、ちよつと気性が荒



マル住職

いそうですが、外国のファンから絵をプレゼントされるなど、人気者のようです。

本堂の柱には刀傷があります。当時の志士たちがつけた傷とされています。

香山墓所 こうざん

香山墓所を訪ねる際、石畳の道がありますが、この場所で足音を大きくたてたり、拍手をすると、美しい音で返ってくるため、「うぐいす張の石畳」と呼ばれています。その道を社員が張り切つて足音をたてながら、墓所に向かいました。その墓所は、代々毛利家の墓であり、

土饅頭型の山の前面に墓石を建てる形式となっています。

柵があるため、近くまで寄れませんが、毛利家の子孫の方が墓所をお世話されているそうです。

十朋亭 じっぽうてい

萬代家の初代、源七は寛政年間の初期（一七八〇年ごろ）に、醤油の商いを始めました。三代目当主の時に家業が大いに栄えたそうです。十朋亭は、その三代



十朋亭とゆかりのある人物たち

目の当主である利兵衛英備が、享和年間（一八〇〇年ごろ）に、裏の離れ座敷として建てた建築物です。

明治以降に一部修復されたそうですが、大部分は江戸時代に建てられたままだそうです。建築から二百年以上経っていると、到底思えないほど、立派な建築物として残っていました。

部屋に入ると、志士の写真が額縁に飾られていました。それは十朋亭に出入りした志士たちで、高杉晋作・木戸孝允・井上馨・伊藤博文・周布政之助などです。



十朋亭にて（手前の二人は「青年一若き日の伊藤博文・井上馨」で描かれているシーンを再現）

※「青年一若き日の伊藤博文・井上馨」著：林房雄

たくさんさんの志士たちがこの部屋を出入りし、また利用していたということを考えるだけで、歴史の重みを感じました。

松田屋ホテル



松田屋ホテル

江戸時代より存在する松田屋ホテルは、維新の志士が集った歴史ある場所です。明治二十年（一八八七年）に新客室を増築後、伊藤博文が初代総理大臣として来泊して、これに「群巒閣（ぐんらんかく）」と命名し、同文字の揮毫額を松田屋ホテルへ贈呈祝福したそうです。入館した際に感じたのは、品のよさ、そして歴史です。ホテル入口から明治維

新資料室が見え、歴史が好きな方は、ワクワクしながらホテルに入れます。その資料室には、錦の御旗をはじめ、司馬遼太郎のサイン色紙など、貴重な資料が並べられています。

一際目を引くのが「憂国の楓」です。これは高杉晋作が松田屋玄関横にあった楓の幹に、文字を刻み込んだといわれているものです。刻まれた文字は「国家ニ盡（ツク）スノトキナリ」と読めます。大正時代、薪割りをしていたら偶然発見されたそうです。その文字の最後に「晋」とあるので、高杉晋作が刻んだものではないかと推測されています。

「維新の湯」は万延元年（一八六〇年）、



憂国の楓



ラウンジバーにある資料室

あの桜田門外の変があった年に造られたとされています。この浴槽には、高杉晋作・木戸孝允・井上馨・伊藤博文・大村益次郎・山縣有朋・西郷隆盛・大久保利通・坂本龍馬・そして三条実美らが入ったとされています。全国の誰もが知っている偉人たちが、この浴槽を利用したのだと思うと、感慨深いものがあります。

井上公園



静かにたたずむ七脚碑

松田屋ホテルから少し離れたところに公園があります。そこは、井上馨の誕生地といわれ、井上馨旧宅があったことから、井上公園と呼ばれています。

こちらには、井上馨侯銅像や、所郁太郎顕彰碑、七脚遺蹟の碑、龍尾の手水鉢などがあります。

井上馨は長州ファイブの一人で、イギリスのロンドンへ留学し、日本で初の外務大臣を務めた人です。政界に重きをなした人でもあり、財界にも幅広く尽力しました。

また、袖解橋の遭難によって、瀕死に

なった井上を奇蹟的に救ったのが、七脚専属の医師でもある所郁太郎です。

井上馨侯という「侯」の字は「候」という字によく間違えられるようで、「侯」が正しい字なのだ教わりました。所郁太郎顕彰碑は井上馨侯銅像の隣にあり、所が井上を助けたということが、隣に置かれていることから窺えました。

龍尾の手水鉢は、古くから井上家に入り、龍の尾の形をしているので、そのように呼ばれているそうです。三条実美や、諸藩の志士たちも使ったという説もあり、実際に使っていたものをこの目で見ると、不思議に思いました。

井上公園の中には大きな古い松の木があります。おそらく、井上馨が生きてい



井上馨侯の銅像

記念聖堂は、昭和二十七年（一九五二年）にフランシスコ・サビエルが山口を訪れてから、四百年を記念して建てられました。平成三年九月五日に焼失

サビエル記念聖堂

楽しめます。私たちが訪れた際も、足湯を楽しんでいる人や、遊具で遊んでいる子供たちを見かけました。歴史上の人物が生まれた場所で遊ぶ子供たちを見ていると、井上馨を含めた皆が見守っているような、そんなふうに感じました。



所部太郎顕彰碑を説明する松前様

る頃、その松の木も同じように井上の成長を見守ってきただと思います。現在では、近隣住民や、観光客の憩いの場所でもあり、足湯も

してしまいました。募金活動などを行い、平成十年四月二十九日、新しい記念聖堂が完成しました。
一六〇〇年前後に毛利氏が城を築きかけて中止した場所で、元々は毛利家の土地でした。明治三十三年ごろ、ここを整備し、数々の銅像が並ぶ公園になりました。その前後に、周布政之助と来島又兵衛の顕彰碑が建てられたそうです。



サビエル記念聖堂

長州 150 年の節目 散策コース in 山口



その後、土地を売り、昭和二十三年（一九四八年）にカトリック教会が土地の一部を購入したそうです。
きれいなキリスト教の聖堂と、志士の顕彰碑が存在する空間が不思議でしたが、カトリック教会が土地を購入しても、日本人の大切なものを残してくれたおかげで、現代に残っていることを考えると、昔のものを残す大切さを学ぶことができました。



まつまえりょうじ
松前了嗣 氏

昭和 42 年山口県玖珂郡錦町（現・岩国市）生まれ。小学生の時より、祖父や担任教諭の影響などで歴史や民俗学に興味を持つ。現在は一般社団法人山口県自家用自動車協会に勤務する傍ら、防長史学会、やまぐち萩往還語り部の会、山口市文化財保護指導員などの活動にも携わり、講演や執筆活動にも積極的に取り組んでいる。

講師の松前了嗣様には、今年で一五〇周年となる長州の歴史、「藩庁移鎮」、「長州ファイブ密航」、「奇兵隊結成」、「七卿落ち」についてのご講話に加え、ゆかりの地と一緒に散策しながらご説明いただきました。

教科書ではわからない裏話などもご教授いただき、改めて山口県（長州藩）には素晴らしい先人がいたということを実感しました。

本当にありがとうございます。

少しでも多くの方に、山口の歴史について興味を持っていただければ幸いです。



菜香亭にて、講師の松前様と講話を聞く社員
研修当日の松前様は明治の洋装を再現されていました



歴史豊かな山口の観光拠点として、また市民交流の場として平成 16 年 10 月 2 日に開館。建物は、明治 10 年頃の創業から平成 8 年までの間、広く親しまれてきた料亭「祇園菜香亭」を移築復元したもので、井上馨や佐藤栄作など著名人の扁額 28 枚とゆかりの所蔵品が展示されている。近代日本の歴史を物語る貴重な建物であり、その歴史を次代に継承していく場として、また大内氏の歴史が薫る大殿地区における大内文化まちづくりの拠点施設として、歴史や文化を活かした事業の実施、市民の文化活動やまちづくり活動の場の提供等を行っている。

山口市
菜香亭

※ この度の研修会場として利用させていただきました。

や	よ	反
ま	も	
話		訳

朝倉 豊

反訳の仕事を始めて日が浅く、聞きなれない言葉にまだまだ四苦八苦する日々です。

議員さんや執行部の方たちの発言を聞く中で、考え方というものは幾通りもあるのだなと大変興味深く感じ、さまざまみなことを考えさせられます。

また、反訳する自治体について調べる最中、きれいな風景写真や、おもしろそうな施設の記事などに、ついつい作業の手がとまってしまいます。反訳を通して、

行ってみたい町がどんどんふえています。知らなかったことを知るといいうのは、とてもおもしろいことです。これからも、たくさん新しいことを知りたいと思います。

松村 千恵子

子供が二人生まれ、仕事をしたくても、なかなか外に働きに出ることができず、そんなときに、知り合いに紹介してもらい、ぎじろくセンターにお世話になることになりました。途中で三人目も生まれましたが……。この仕事を始めたときに、幼稚園の年中組だった一番上の子は、もう高校を卒業してしまいました。

最初は、パソコンではなくワープロで、請求書も手書きで書いていたのを覚えています。三カ月ほど出産のため休暇をいただいで、また復帰。我ながらよく続いていると思います。

まだまだミスもありますが、自分自身と家族の生活のために、一つ一つしっかりとやっていきたいと思っています。今後とも、御指導よろしく願います。

山脇 裕美

気がつけば、反訳の仕事を始めて二十数年。社内の若い新入社員さんが生まれる前から携わっているんだなあと、ちよつぱり複雑な気持ちです。

一体、今までどのくらいの仕事をこなしてきたのでしょうか。でも、これはパーフェクト！完璧だ！と思える製品は一つもありません。だからこそ、この仕事は本当に奥が深いなあと、思います。

これからも一〇〇%の製品に少しでも近づけるよう、日々精進したいと思えます。

新版「標準用字用例辞典」に準拠しています。

言葉を書き言葉として定着させる際に、的確な文字遣いの参考となるもので、速記者や発言記録作成者必携の辞典です。



ぎじろくセンタートピックス

ワンコイン運動

ワンコイン運動は、毎月五百円を社員、在宅者で募り、集まったお金で地域貢献に役立てる目的で始めました。

「福島の子供とつながる字部の会」や、地元で活動されている「西岐波はってんくらぶ」の灯籠流しのイベントの活動資金の一部として寄付させていただきます。

ワンコイン運動で、地域貢献できることは、地元への恩返しにもなりますし、とても喜ばしいことです。引き続きワンコイン運動を続けていきます。



「森の防潮堤」活動

東日本大震災の被災地に、「森の防潮堤」として植樹するためのドングリの苗木を育てています。

ことしの三月より育て始めた苗木も、現在は写真のとおり、しっかり育っています。地表から三十センチほどの大きさにな



れば、現地に送って、植樹されるまでに二、三年はかかるようですが、しっかりと成長を見届けたいと思います。

緑のカーテン

一昨年はゴーヤ、昨年は朝顔、今年にはヘチマと朝顔の二種類に挑戦。毎朝水やりを行い、元気がなくなってきたときは土を多くしたり、水やりの回数を増やしたりと、社員みんな愛情をもって育てました。

来年の緑のカーテンづくりのための朝顔から無事に種を収穫することができました。



社員旅行

ことしの社員旅行は、東京や横浜を訪れました。

初日は靖国神社を参拝し、日本の歴史について学ばせていただきました。また、国会では仕事柄、議事堂の見学は大変興味深いもので、貴重な体験ができました。

二日目は鎌倉観光の後、多くの社員は初体験の横浜スタジアムでの野球観戦をしました。



中学生職場体験

地域社会への貢献活動の一貫として、毎年、地元中学校の職場体験学習の受け入れを行っています。

ぎじろくセンターを体験学習の場として選ばれる理由の多くは、「パソコンに興味があるから」、「将来、パソコンを使った仕事をしたい」ですが、ことはそれに加えて、「ぎじろくセンターに行くと、自分の名刺が作れると先輩から聞いたから」と、提出された資料には載っていない志望動機を話してくれました。

少しずつですが、生徒たちの中で、職場体験学習の候補に当社が認識されているのを感じました。



午前中に会議録の説明と、デモ音声を使って反訳を行ってもらい、午後から、名刺の作成です。最後に、作成した名刺を使って、名刺交換をしました。今回の体験が、将来を考える上での判断材料の一つになればと思います。

第35期社内大会

五月十二日、市内のホテルで第三十五期社内大会を開催いたしました。

社是経営理念の唱和、永年勤続者の表彰、ワンコイン・義捐金活動の報告をさせていただきました。

記念講演会は前内閣総理大臣、衆議院議員の野田佳彦様を迎え、「素志貫徹」と題して御講話いただきました。

懇親会も含め、盛大に盛り上がり、最後は、弊社のイメージソングを皆さんで手を取り合せて輪になって歌いました。笑顔、そして感動あふれる社内大会になりました。



大豆100粒運動

大豆100粒運動とは、辰巳芳子先生が、①低い食料自給率への危機感②食料の安全への危機感③大豆の栄養④学校教育の場に有効の四つを考えられて取り組まれている運動です。

今年は約2,000粒植え、おかげさまでしっかりとした枝豆ができています。大豆の収穫は10月末から11月にかけて行います。



社風造人

「社風造人」です。この言葉には、良い社風が良い人をつくるという思いが込められています。

現在、その社風に沿った社員教育を行うために、いろいろな取り組みを行っています。

しかし、一言で社員教育を行うと言っても、簡単なことではありません。そこで、最近、

Dale Carnegie (デール カーネギー)の「人を動かす」を読みながら、相手が何を望んでいるのかを考え、どう行動に移せばよいかを学んでいるところです。

相手の立場に立って物事を考えることが、良い社風に繋がるのではと考えています。

それらの考え方を業務の中にも取り入れ、お客様が何を求めているのかを考え、きめ細やかなサービス、良い製品を提供できるように、取り組んでいます。

ぎじろくセンターの情報が満載!!

ぎじろくセンターのウェブサイトスクリーンショット。サービスメニュー、お問い合わせフォーム、会社概要などが表示されています。

URL <http://www.gijiroku-center.co.jp/>

在宅オペレーター 募集!

「テープ起こし」とは？
録音された音声データを聞きながら、パソコンを使い文章にすることです。

- ・自宅にパソコン、ネット環境が整っている方
- ・文字入力のお仕事のため、ブラインドタッチができる方
- ・基本的なパソコン操作ができる方
- ・Microsoft office製のWord・Excel操作ができる方
- ・文書校正に興味のある方（経験者求む）

こまめに辞書を引く作業もあるので、根気よく続けられる方、提出期限を守る責任感のある方が向いています。年齢不問、初めての方でも研修があるので大丈夫です。(有料5,000円)

担当: 安川 または 畑 まで
TEL: (0836) 51-6209
対応時間: 月～金曜日 9:00～17:00

表紙の説明
おあしす
フジマグループ 藤麻功会長
写真...十冊亭